

クラス通信

麻生本校・円山校

クラブユニック小学部

令和4年 3月号

2022. 3. 15発行

保護者の皆様へ

副理事長・副校長 福島 拓

クラス通信3月号をお届け致します。今回は春休み中の過ごし方の要点と、3月3日に行われました「公立高校入学試験」結果の概要(内容)を掲載致しました。小学生にとって春休みは学年の入れ替えですが、四谷大塚は2月からすでに新年度に移行しております。まとまった休みは復習の絶好の機会ですので、この間に苦手な分野の見直しを含めて指導致します。

まだ先のことといえる「高校受験」や「中学入試」など新学年となる今、早めに意識しておくことも春休み期間は良い時期と言えます。

3月は出会いと別れの月でもあります。クラブユニックでも麻生校小学部を担当しておりました兵藤先生が3月いっぱい退任され、新たに黒川先生が着任致しました。円山校と麻生校の小学部・中学部の指導を担当します。指導経験の長い実力ある先生ですので、また緊張感を持って学習して頂きたいと思えます。

春期講習のご案内



【円山校】

期間：3/28(月)～4/5(火)

- ★ 上記の通り期間も短く、四谷大塚のテストがありませんので、弱点個所を徹底的に復習する機会としてしっかり学習しましょう。
- ★ 年度途中での入学者、または後追い型のカリキュラムを進めている生徒に関しては、追いつくように進めていきます。こちらの生徒はこの期間で毎日通塾して学習していくことをお勧めします。
- ★ 受験生においては毎日6時間の学習(算数・国語は各2時間、理科・社会は各1時間)を最低ラインとして頑張りましょう。特に4月中旬には第1回目の「合不合判定テスト」もあります。これに照準を絞って頑張りましょう。

【麻生校】

- ★ 麻生校では、2022年3月・4月期間での校舎リニューアル工事により使用可能な教室が限られるため、春休み期間中は**通常通りの授業日程で行います**。
- ★ 長期休みの貴重な復習のチャンスを有効に活用するためにも、既習単元の定着度アップを目標にした教材を用意いたしますので、ご家庭でもしっかりと取り組んでください。
- ★ 特に中学受験を考えている生徒さんにとっては、春からの頑張りが一年間の学習成果にそのまま結びつきますので、さらに気を引き締めて頑張ってもらいたいと思えます。

※北海道学力コンクールは、任意受験としています。小学4年生以上から受験可能です。

<退任の挨拶> 小中学部担当 兵藤 晋平

皆さんと出会ってからの1年、本当に楽しく充実した、自分にとってかけがえのない時間を過ごすことができました。皆さんの頑張りや成長を身近に見ることができ、心強く、頼もしく感じています。これからも大きく羽ばたいていってください！

今回は私事で申し訳ありません。より広い立場から教育に携わることになり退任いたします。またどこかでお会いできることを楽しみにしています。

努力と継続は、必ず力となって自分を助けてくれます。決してあきらめず、前を向いて、できることを一つずつ頑張ってください！！



<新任の挨拶> 小中学部新担当 ^{くろかわ すばる} 黒川 昂

皆様はじめまして。この度兵藤先生の後任を務めさせていただきます黒川昂と申します。出身は新潟県新潟市で年齢は38歳になります。趣味は色々ありますが最近ハマっているものは料理とサウナです。

教育業界では学生時代を含めると15年以上働いております。通われる皆さんへは「勉強ができるようになる喜び」のサポートができればと思っております。できなかった事ができるようになるとまた次のことにチャレンジしてみたいものだと思います。勉強をすることを通じて色々な事に興味を持ち、色々な事を身に付けていってもらえれば嬉しいです。それではこれから一緒に頑張っていきましょう。

—今年3月実施「高校入試」の結果について—

担当：兵藤 晋平

学校ではこれから新しい学年としてスタートするこの時期、少し早いとは思いますが、何ごとも相手「高校受験」を知って現在の学習を進めていくことはとても有意義なことと思います。是非参考にしてみて下さい。今回は直近に行われた「公立高校入試」の結果講評ですが、「中学入試」についても今後掲載して参ります。

【今回の高校入試、出題の特徴】

○全体としては過去の北海道高校入試を踏襲した出題

国語：長文記述の追加、「話し合い」問題が大問化、古典での表現解答も新出

英語：リスニング配点大幅増（60点→100点）による英文解答、条件英作文（24語以上）

記述だけでなく状況の読み取りを求められる出題

数学・社会：“自分の”言葉で考えや知識を説明する問題や経済分野を中心とした時事問題

理科：計算が少なく比較的平易な内容、作図・記述問題が例年に比べて増加

○総じて教育改革を目指し、読解力や表現力、資料の読みとりを受験生に求める方向性が顕著。

小学生から意識しておくことはどの教科も従来のようにわからなくても「○・×」付けで済むような問題や選択式からの脱却を目指しているということ、いわゆる「思考力」「記述力」を求める傾向にあるという点です。今後、これらを意識して指導して参ります。

麻生本校：001-0037 札幌市北区北37条西3丁目3-15 ☎011-716-7162

円山校：064-9820 札幌市中央区大通西23丁目1-1 ☎011-613-7755

麻生本校 小中学部



円山校 小学部



3月、4月予定の詳細はQRコードからホームページでご覧下さい。
緊急連絡の際は「ライン」でお知らせ致します。